平成27年度評価において「課題」とされた項目に対する平成28年度の改善状況

平成29年3月現在

計画に対する評価委員会評価	その後の取組
府立大学において、平成27年12月に学生の飲酒死亡事故が起こっており、再発防止に向けて、学生への飲酒に関する教育・指導に取り組む必要がある。	医大・府大両大学において再発防止に向けた学生に対する安全教育（研修）を継続的に実施している。 （府大の主な取組内容） ・大学構内での飲酒の全面禁止 ・平成27年12月22日と24日に緊急でクラブ・サークルリーダー研修会の実施とともに、12月最後の授業で全学生に対する学長緊急メッセージの読み上げ ・平成28年2月に、再度、アルコールへの付き合い方などについてクラブ・サークルリーダー研修と教職員研修の実施 ・府大独自の啓発資料「学生生活ガイドブック」の作成・配付 ・学生のメンタル面に配慮した相談体制の構築と保護者への説明会などの実施 ・新入生ガイダンス、学科別履修ガイダンスでの啓発・教育 ・飲酒事故防止セミナーの開催　など
府立大学において、教員による大学院試験問題の出題範囲漏洩事案が発生しており、更なる再発防止に向けて取り組む必要がある。	・出題範囲を漏洩した教員を停職５月とするなど関係者を処分した。 ・平成29年度入試から、共通問題を導入して、出題者が特定の者に固定化されない出題方式に変更した。 ・平成30年度入試に向け、出題科目が専門種目のみとなっていた分野において共通科目を追加し、出題者が特定の者に固定されないよう出題内容を見直すことを決定した。